

あさか開成高等学校オーストラリア海外研修 5 日目 (7/19)

今日も登校後、バディに迎えに来てもらい、授業に向かいました。毎日朝回収する日記には、その日学校で何をしたか、ホストファミリーとどのような時間を過ごしたかを書いてもらっています。昨日の日記には、バディとの緊張の対面とオーストラリアの授業について多く書かれていました。バディが優しく接してくれて安心したこと、それでもなかなか会話が出来ずもどかしい気持であったことなどです。明日はもっと話したい、今日聞けなかったことを質問しようと言う目標を立てるなどして今日もそれぞれの挑戦が始まりました。

今日は生徒たちにとって大きな課題がありました。ランチタイムの時間を使ってのプレゼンの時間です。朝、Lisa からバディに案内を渡し、告知をしました。会場となる教室には、ピザも用意され、授業が終わると続々と現地の生徒たちが集まってきます。プレゼンはあさか開成高等学校についての発表からスタートしました。クラブ活動の紹介で流した動画は、オーストラリアの学生も理解しやすく興味深そうに見ていました。その後のオーストラリアのイメージについての発表ではクイズがあり、生徒の問いかけに、皆手を上げて参加。後半の東北地震とエネルギーについての話は、より一層集中して真剣に耳を傾けてくれているようでした。

あさか開成の生徒たちも、これから出番という生徒を元気づけ、出番が終わった生徒に労いの言葉をかけるなど、全員でプレゼンに取り組みました。自分の発表の前は緊張している生徒もいましたが、練習の成果もあり、時間通りにすべての発表を終える事が出来ました。発表が終わると拍手が起き、帰り際わざわざ生徒や先生に感謝の言葉を伝えてくれるバディもいました。

お昼休みいっぱいを使ったプレゼンだったので、生徒たちは終了後すぐに午後の授業に移動していきましたが、多くがスポーツの授業でした。今日は校内のグラウンドが小学校のスポーツ大会のため使えず、外部のグラウンドを利用していました。外部と言っても学校から歩いて数分のところで、数十人が一度に利用しても十分な広さです。サッカーかタッチと呼ばれるラグビーかどちらか好きな方に参加するという時間でした。最初はどのように参加すればいいのか分からず遠巻きに見ていた生徒たちを、現地の生徒が迎えに来てくれ、大半はサッカーに参加しました。人数もきちんと数えているわけではなくかなり自由な試合ですが、スポーツを通して楽しい時間を共有し、いつもとは違う交流をすることができました。

授業後はバディと別れるときにハグをしたり、連絡先を交換したりしている生徒も見かけました。実はバディと過ごす時間はあと半日しかありません。あっという間に研修の半分が過ぎ、少しずつ帰国の日を意識するようになってきました。今までよりも後半の方がもっと早く時間が過ぎます。悔いの無いよう一日一日を過ごしてほしいと思います。



プレゼン①



プレゼン②



見に来てくれた現地の学生



最後に先生からの挨拶



スポーツの時間①



スポーツの時間②